

令和 8 年 1 月 26 日

各 位

薬局 医薬品情報室

第 301 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

*原則、令和 8 年 2 月 1 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

1. 新規採用薬品について

(1) アネレム静注用 20mg (ムンディーマーファーマ) [消化器内科] 薬価：1,540 / V

アネレム静注用 20mg は、超短時間作用型で速やかに代謝される鎮静剤であるため、ミダゾラムと比較し覚醒が非常に早く、検査後の回復時間が短縮されるメリットがあります。

(2) ゴフルーザ顆粒 2%分包 (塩野義製薬) [小児科] 薬価：1,666.2 / 包

ゴフルーザ顆粒 2%分包は、1 回の経口投与で治療が完結するため、連日服用の負担や飲み忘れが無く、吸入薬が困難な小児にも服用しやすいです。

2. 院外採用薬品について

(1) ヒルドイドローション 0.3% (マルホ) [小児科] 薬価：18.2 / g

ヒルドイドローション 0.3% ボトルポンプ付きは、1 プッシュで一定量を押し出せる点、両手で素早く広範囲に塗ることができる点がメリットとして挙げられます。

(2) ベピオウォッシュジェル 5% (マルホ) [小児科] 薬価：99.6 / g

ベピオウォッシュジェル 5%は、尋常性ざ瘡治療薬であり、1 日 1 回洗顔後に適量を塗布し、その後洗い流すことで効果を発揮する日本で初の医薬品です。

(3) エパデール EM カプセル 2g (持田製薬) [循環器内科] 薬価：112.6 / 包

エパデール EM カプセル 2g は、従来の薬剤 (1 日 2 回服用) よりも服用回数が少ない 1 日 1 回の EPA 製剤です。

(4) ジンタス錠 50mg (ノーベルファーマ) [消化器内科] 薬価：232.9 / 錠

ジンタス錠 50mg は、従来の薬剤 (ノーベルジン) と比較し悪心・嘔吐など消化器症状が少ないため忍容性が高い点がメリットとして挙げられます。

(5) ナルティーク OD 錠 75mg (ファイザー) [脳神経内科] 薬価：2,923.2 / 錠

ナルティーク OD 錠 75mg は、日本で初の偏頭痛に対して「急性期治療」と「発症抑制」の両方を適応に有する薬剤です。また、血管収縮作用が少なく心血管リスクのある患者に対しても使用できます。

(6) ネクセトール錠 180mg (大塚製薬) [循環器内科] 薬価：371.5 / 錠

ネクセトール錠 180mg は、アデノシン三リン酸クエン酸リアーゼを阻害する、高コレステロール血症の新規作用機序の経口薬です。スタチン系特有の筋肉系の副作用が少なく、従来の治療で効果不十分の患者に対する新たな治療選択肢となります。

3. 採用区分変更の薬品について

(1) ケレンディア錠 10mg 薬価：143.9 / 錠

(2) ケレンディア錠 20mg 薬価：205.8 / 錠

ケレンディア錠 10mg および 20mg は、2 型糖尿病を合併する慢性腎臓病に加え、慢性心不全の適応症を取得したため、院内の使用量が増加している点を考慮し採用区分を院内採用へ変更します。

(3) オダイン錠 125mg 薬価：101.3 / 錠

オダイン錠 125mg は、2024 年 4 月より院内の処方が無く、院内の在庫も無くなるため院外採用へ変更します。

4. 採用中止薬について

(1) クリースビータ皮下注 10mg (協和キリン) 薬価：304,818 / V

(2) クリースビータ皮下注 20mg (協和キリン) 薬価：608,282 / V

(3) クリースビータ皮下注 30mg (協和キリン) 薬価：911,812 / V

クリースビータ皮下注は、新たにクリースビータ皮下注シリンジを導入するため、採用を中止します。

5. 販売名変更の報告

・日本化薬

カルボプラチン点滴静注液 50mg「NK」→ カルボプラチン注射液 50mg「NK」

カルボプラチン点滴静注液 150mg「NK」→ カルボプラチン注射液 150mg「NK」

カルボプラチン点滴静注液 450mg「NK」→ カルボプラチン注射液 450mg「NK」

・ 帝人ファーマ

ゼオマイン筋注用 50 単位 → ゼオマイン注用 50 単位

ゼオマイン筋注用 100 単位 → ゼオマイン注用 100 単位

ゼオマイン筋注用 200 単位 → ゼオマイン注用 200 単位

・ ヴィアトリス製薬

クロモグリク酸 Na 点眼液 2%「ファイザー」 → クロモグリク酸 Na 点眼液 2%「VTRS」

・ 高田製薬

ボルテゾミブ注射用 3mg「ヤクルト」 → ボルテゾミブ注射用 3mg「タカタ」

ゲムシタビン点滴静注用 1g「ヤクルト」 → ゲムシタビン点滴静注用 1g「タカタ」

ゲムシタビン点滴静注用 200mg「ヤクルト」 → ゲムシタビン点滴静注用 200mg「タカタ」

上記の薬剤について販売名名称が変更となります。

6. メーカー変更の報告

アステラス → あゆみ製薬

ボノテオ錠 50mg

上記の薬剤についてメーカーが変更となります。

7. 特別採用薬品の報告

－診療科限定－

(1) ヌーカラ皮下注 100mg ペン [耳鼻咽喉科] 薬価：159,891 / キット

(2) ニンラーロカプセル 0.5mg [血液内科・院外] 薬価：24,023.7 / Cap

－患者限定 臨時採用薬使用－

(1) リアルダ錠 600mg [小児科] 薬価：96.1 / 錠

(2) エザルミア錠 100mg [血液内科・院外] 薬価：13,819.6 / 錠

(3) エザルミア錠 50mg [血液内科・院外] 薬価：7,207.9 / 錠

(4) ツムラ七物降下湯エキス顆粒(医療用) [産婦人科・院外] 薬価：13.1 / g

(5) ツムラ平胃散エキス顆粒(医療用) [産婦人科・院外] 薬価：12.2 / g

(6) アメパロモカプセル 250mg [消化器内科・院外] 薬価：420.5 / Cap

(7) クリースビータ皮下注 10mg シリンジ [小児科] 薬価：305,043 / キット

(8) クリースビータ皮下注 20mg シリンジ [小児科] 薬価：608,836 / キット

(9) クリースビータ皮下注 30mg シリンジ [小児科] 薬価：912,366 / キット

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

8. 後発医薬品切り替えについて

(1) 前立腺癌治療剤（CYP17 阻害剤）

先発品：ザイティガ錠 250mg（ヤンセンファーマ） 薬価：3,759.3 / 錠

後発品名：アピラテロン酢酸エステル錠 250mg「NK」（日本化薬） 薬価：1,632.3 / 錠

上記の医薬品について後発医薬品の切り替えを実施します。ただし、先発品は院外のみ処方できます。

9. その他

—流通関連—

(1) 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン ミールビックの限定出荷解除について

乾燥弱毒生麻しん風しんワクチン ミールビックは、2026 年 1 月 6 日より限定出荷が解除されました。

(2) 乾燥ジフテリア破傷風混合トキソイド DT ビックの限定出荷について

乾燥ジフテリア破傷風混合トキソイド DT ビックは、2026 年 4 月 1 日より希望納入価格が改訂されるため安定供給を目的に出荷調整となります。

(3) ニトロール注 5mg・ニトロール持続静注 25mg シリンジの限定出荷について

ニトロール注 5mg およびニトロール持続静注 25mg シリンジは、他社製品の出荷停止の影響のため限定出荷となっています。

(4) ペンタサ顆粒 94%、ペンタサ錠 250mg および 500mg 限定出荷について

ペンタサ顆粒 94%は、輸入元 フェリングファーマより世界中の需要が高まり、日本への供給量が低下し国内の流通量が低下するため出荷調整となっています。ペンタサ錠は、ペンタサ顆粒の流通量の低下に伴い出荷調整となっています。流通量の低下に伴う今後の対応については、消化器内科の医師と相談しながら調整していきます。

以上